

# ポスト・グラフィックデザインの準備

デザイン学科 梶藤隆弘 ETO Takahiro



本年度から「ポスト・グラフィックデザイン研究室」を開設した。かつて自分が学び、そして今取り組んでいるグラフィックデザインを、今の学生が同じように学び実践するとは到底思えないほどに、様々な状況が変化している。だからこそ「ポスト」とつけたわけだが、これまでのグラフィックデザインに代わる方法を提示できるほど事態は簡単ではない。写真技術が発明されて近代絵画表現が開花したように、グラフィックデザインにしかできない何かを追求することで可能性を発見したい。まずはグラフィックデザインを取り巻く状況を洗い出すことから始める。



グラフィックデザイナー

1981年静岡県生まれ。2010年多摩美術大学大学院博士後期課程修了。博士(芸術)。2016年STUDY LLC. 設立。グラフィックデザイン固有の思考や表現を多様な領域へ展開することを試みている。主な受賞に、世界ポスタートリエナーレトヤマ2009銅賞、第22回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ Honorary Mention、日本タイポグラフィ年鑑2019ベストワーク賞、ポリビアポスタービエンナーレ2019 FIRST MENTION など。東京工芸大学デザイン学科助教。東京TDC会員。JAGDA 会員。

ポスト・  
グラフィックデザイン  
の準備

13  
14  
15

Ready for  
Post-Graphic  
Design

16  
17  
18

機能の問題

01 情報拡散力の低下  
02 複製コストの上昇  
03 効果測定の難しさ

19  
20  
21

役割の問題

04 ビジネスの道具化  
05 問題解決の絶対視  
06 役割の限定化傾向

22  
23

評価の問題

07 評価軸の不明瞭さ  
08 批評メディアの少なさ  
09 学術研究の少なさ

24  
25

職能の問題

10 定まらない職能  
11 不可視化する職能  
12 単一の職能団体

定義の問題

定義の困難さ  
国外とのギャップ  
アートとの境界

メディアの問題

紙媒体の減少  
複数媒体への対応  
印刷技術の継承

教育の問題

大学で学ぶ意義  
カリキュラムの形骸化  
ロールモデルの不在

啓蒙の問題

言語化の難しさ  
体系化の難しさ

造形の問題

造形の道具化  
表現のカタログ化

and so on.

グラフィックデザインが  
一般化した時代の  
実践の方法を考える。  
そのための問い。

## Preparing for Post-Graphic Design

Department of Design ETO Takahiro



Starting this year, the Post-Graphic Design Lab was established. Different circumstances are changing so much that it's hard to believe that students today are learning and practicing graphic design in the same way that I once learned, and am working on even now. That's why I've included "post-", but it's not so simple as offering an alternative to traditional graphic design. Just as photographic technology was invented, and modern expression with painting blossomed, I want to discover potential by pursuing something only graphic design can do. First, I'll start with bringing to light the circumstances that surround graphic design.



graphic designer/Born in Shizuoka in 1981. Graduated from Doctoral Degree Course, Graduate School of Tama Art University (Ph.D.) in 2010. Since 2016, own studio in Tokyo. He is experimenting to develop graphic design specific expressions in various fields. Awards he received include: The 9th International Poster Triennial in Toyama 2009 Bronze Prize, 22nd International Poster Biennale in Warsaw Honorary Mention, JAPAN TYPOGRAPHY ASSOCIATION 2019 Bestwork Prize, Biennial of Poster Bolivia BICeBé 2019 FIRST MENTION, and more. Assistant professor at Tokyo Polytechnic University since 2018. member of Tokyo TDC and JAGDA.

ポスト・  
グラフィックデザイン  
の準備 13  
14  
15

Ready for  
Post-Graphic  
Design 16  
17  
18

機能の問題  
01 情報拡散力の低下  
02 複製コストの上昇  
03 効果測定の難しさ

役割の問題  
04 ビジネスの道具化  
05 問題解決の絶対視  
06 役割の限定化傾向

評価の問題  
07 評価軸の不明瞭さ  
08 批評メディアの少なさ  
09 学術研究の少なさ

機能の問題  
10 定まらない職能  
11 不可視化する職能  
12 単一の職能団体

定義の問題  
定義の困難さ  
国外とのギャップ  
アートとの境界

メディアの問題  
紙媒体の減少  
複数媒体への対応  
印刷技術の継承

教育の問題  
19 大学で学ぶ意義  
20 カリキュラムの形骸化  
21 ロールモデルの不在

啓蒙の問題  
22 言語化の難しさ  
23 体系化の難しさ

造形の問題  
24 造形の道具化  
25 表現のカatalog化

and so on.

グラフィックデザインが  
一般化した時代の  
実践の方法を考える。  
そのための問い。